

関係を育てる心理臨床

～ 流れを読むことと here and now の対応を ～

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成 29 年 7 月 1 日～平成 34 年 6 月 30 日 承認番号:W29111>

期 日：2018年 10月 13日(土)・14日(日)

受講対象：臨床心理士・看護師・保健師・保育士・相談員・教師など、医療や福祉・教育・相談・子育て支援などに携わっている専門家、大学院生、および関心のある方々

定 員：60 名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000 円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 ☎03-3986-7021

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田 3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約 7 分

**** 企画講師(敬称略)：田中 千穂子 ** 学習院大学文学部心理学科 教授
花クリニック 臨床心理士、文学博士**

人の成長発達を関係性という視点から捉える、という試みでこの講座をスタートさせて 12 年目になりました。毎年私の講義と、みなさまから提供していただいたケースを検討するスタイルで行ってきました。

セラピーをしていくうえで、セラピストにはセラピーの流れを読んで何が起きているかを理解するという課題と、here and now で「いま、目の前で起きていることに対応する」という課題があります。もちろん、セラピーのなかでもっとも重要なのは、自分と相手との間で「今、まさに生じていること」を敏感にキャッチし、対応してゆくセンスです。それはまさに、感覚的に相手と自分がつながるようなものですから、その時「考える」というよりも、もっと直感的なものがはたらく、といった方がよいように思います。しかし実際には、その場で起こった何かを自分でつかむことは、なかなか容易ではありません。

相手と自分との間で「今、まさにここで生じていること」をどう読み、どう理解して対応するかということの積み重ねが、毎回のセッションの流れになり、それが束になってセラピーの流れをつくりだします。ですから逆に、その流れを後からじっくり振り返ることを通して、その時、自分と相手との間に何が起こっていたのかを把握することができるのです。それをしてゆくことで、here and now で自分のなかで動いているものを自分で把握し、自覚することができます。自覚できるから、もっと使えるようになるのです。

そのあたりの具体的なことを今回はテーマとして、みなさま方のさまざまなケースを通して考えてみたいと思います。できれば前回同様に、はじまりだし(初回面接)に焦点をあてながらケース全体を検討できるとよいのではないかと思います。

《田中 千穂子》

	日程	時間	テ ー マ
プ ロ グ ラ ム	10月13日 (土)	13:00~17:30	初日も2日目も、私自身が考えていることを講義として提示しつつ、提出していただいたケースを織りまぜながら進めてゆきたいと考えています。
	10月14日 (日)	9:00~12:00	同 上
		12:00~13:00	昼 食 (各自おとりください)
		13:00~16:00	事例検討・講義ほか

※ 講義の途中、1～2時間の単位で、適宜休憩時間を入れます。

※ 事例の提出締切は 9 月 13 日(木)です。用紙につきましては、HP の申込書欄から取りだせます。ご不明の点は、事務局にお問い合わせください。